

ご先祖様が我が家に
お帰りになる

一年で一番暑い頃にご先祖様がお帰りになります。

うインドの言葉を漢字に当てたものです。意味は、倒さに吊るされた苦しみです。

もちろん普段から、仏壇やお墓、お寺へと懇ろにご供養されていることですしよ
うが、お盆は、確実に亡き人がお家にお戻りになる大切な一時です。

亡き人に思いをはせ、家業を清掃し、祭壇を組み御本尊・御先祖のお位牌を祀り花を飾り、食べ物を供え、心静かに手を合わせ、お経を挙げご供養させて頂きま

お盆は、自分と亡き人、遠く離れて暮らしている家族や親戚、縁者との繋がりを、最も強く感じる日でもあります。お盆は一家にとつてかけがえのない大切
な日なのです。

「孟蘭盆会」^{うらぼんえ} 正式には
お盆は、

うインドの言葉を漢字に当たるものです。意味は、倒さに吊るされた苦しみです。

「仏説盂蘭盆經」に次のように説かれています。

お釈迦様の十大弟子の一人に神通力（不思議な力）をもつた目連尊者が、母を亡くし、ふと、あの世で母が今どうしているのかと思ひ神通力での世を覗きました。母は、水を飲むことも、ご飯を食べることもできない、骨と皮に痩せ衰え腹が膨れ上がった姿になり、欲しくても口に食べ物が入らない世界「餓鬼道」で苦しんでいました。

目連は、神通力で食べ物を母の口へ持つていきますが、たちまち焰ほのわとなつて燃え上がるのです。

困り果て、目連はお釈迦様に救いを求めました。

お釈迦様は、「目連よ、よく聞くがよい。世の中の全てのものは、お互いの因縁によつて助け合つて結ばれているのだ。目連の母は、生前、自分だけ良ければそ

れで良いと考え、他人の迷惑を考えずに生活していた。母のその罪は非常に深く、今その報いの罰を受けているのだ。母を救いたいだろうが一人の力では救うこと出来ない。しかし、まもなく七月十五日は、修行僧が一堂に集まり、それぞれの過去を悔い改める懺悔さんげの仏道修行があるから、この日に皆に御馳走を差し上げ、餓鬼道で苦しむ多くの精靈のため、母のため、皆の力を借り祈るのだ。誠に祈れば、その功德により母を救うことが出来るだろう。」と説かれました。

目連尊者は、お釈迦様の教えに従い、一心に祈り供養したところ、やがて、一筋の光明が餓鬼道に落ち多くの精靈と母が餓鬼道から救われたと伝えられます。

やがて、その嬉しさの舞が「盆踊り」「みたま祭」となりその母を思う孝養の心と行が、先祖供養として現在の新暦八月となり盆行事となつてゐるのです。

今でも「精靈流し」「灯籠

人に神通力（不思議な力）をもつた目連尊者が、母を亡くし、ふと、あの世で母が今どうしているのかと思ひ、神通力での世を覗きました。母は、水を飲むこと、ご飯を食べることもできぬ、骨と皮に痩せ衰え、腹が膨れ上がりつた姿になり、欲しくても口に食べ物が入らない世界「餓鬼道」で苦しんでいました。

目連は、神通力で食べ物を借りました。目連尊者は、お釈迦様の教えに従い、一心に祈り供

なく七月十五日は、修行僧が一堂に集まり、それぞれの過去を悔い改める懺悔の仏道修行があるから、この日に皆に御馳走を差し上げ、餓鬼道で苦しむ多くの精霊のため、母のため、皆の力を借り祈るのだ。誠に祈れば、その功德により母を救うことが出来るだろう。」と説かれました。

「流し」京都の「大文字の送り火」などが有名ですが、先祖なくして今の私はいないのですから、そのご恩に報い感謝の心を捧げ具体的に表したいものです。

忘れてはならないのは、亡き人を偲びご供養をすることはもちろん大切なことです。ですが、このお盆を現世に活かし、私たち自身が餓鬼道に落ちないように、自己を見つめ悔い改め、明日の良き礎とすることが大切です。

幾多のものに施し、先祖を敬い、自己を見つめ直すことが、人間らしく、仏様を迎えることができるのです。



家具や内装などを手掛け
るという。依頼があればど
こでも喜んで伺うという。
澤田和彦代表は、「同じ
ものは三度迄。実際に使う
方のお話を直接伺い、その
人が使いやすく、そこにあ
たデザインを考え、世界で
一つしかないものを提供さ
せて頂く。その結果、喜ん
で下さつたら、その時が何
より嬉しいな」といわれる。
楽しい事が大好きなどつ
ても気さくな澤田氏を始
め現在六名のスタッフと共
に、手作りの温もりを感じ
る工房では、今日も新たに
木家具に取り組む姿は、笑
顔の絶えない活気のある
工房であった。

<http://www.tuyama-mokukoubou.com>

平成二十四年度 主な行事予定

第2号

少林寺たより「澤龍」

- 総供養 (そうくよう)
- 六月十七日（日）十四時
- 毎年恒例の檀信徒皆様のご先祖様ご回向の読経と住職による法話。
- 盂蘭盆大施食会 (うらぼんたいせじきえ)
- 八月十八日（土）十六時
- 毎年恒例の他寺住職による法話とお盆の大法要。
- 禅道場体験 (ぜんどうじょうたいけん)
- 八月二十一日（火）
- 七時～十二時頃（昼食付）
- 少林寺でお寺の修行を体験をしてみませんか？
- 掃除、坐禅、読経、写経など禅の修行に触れて頂きたいと思い企画致しました。
- 子供から大人まで檀家は問いませんので、親子・お友達などお誘い合わせの上ご参加下さい。
- 朝食の用意はありませんから済ませてご入門下さい。
- ※対象 小学生以上
- （お一人様から参加可能）

覚禅会

本年一月より開催致して
おります毎月一回の坐禅

- 元旦（三日）
- 十二月八日（土）九時
- 一月十二日（土）九時
- 二月八日（土）九時
- 三月八日（土）九時
- 四月八日（土）九時
- 五月八日（土）九時
- 六月九日（土）九時
- 七月十四日（土）九時
- 八月二十一日（火）
- 七時～十二時頃
- 八月は「禅道場体験」に変えさせて頂きます
- 九月八日（土）九時
- 十月十三日（土）九時
- 十月十日（土）九時
- 十二月八日（土）九時
- 摂心会

（是非、下記サイトをご覧下さい。
月の面白さ、暦の大切さが満載です）

<http://tsukigoyomi.jp>

- ※予約制（定員三十名）
- ※申込み方法 少林寺にある「禅道場体験入門願」にご記入下さい。
- ※参加費 無料
- 夏休み親子参禅の旅 (八月二十七日～二十八日)
- 大本山永平寺参拝の旅 (十月二十四日～二十六日)
- 別紙参照下さい！

と写経の「覚禅会」がとても好評です。
九時～坐禅（休憩）
十時～読経、写経等
参加費無料。坐禅と写経の二部制です。一方の参加も可能です。初めての方ご指導致します。足の不自由な方の坐禅は、椅子に座り足を組まなくてもできます。檀家は問いません。どなた様でもお気軽に御参加下さい。

お月さま

小正月という言葉を聞かれた方も多いでしょう。むかしの暦の正月十五日のことで、今のカレンダーと違つて十五日といえば十五夜の丸い月が出ると決まつた日でした。小正月からちょうど半年後が七月十五日で、やはり十五夜の丸い月が出る日に当たります。これまた小正月に勝るとも劣らない歳時の日であり、皆様よくご存知のお盆がこの日ということになります。

- 摂心会 (せっしんえ)
- 十二月八日（土）九時
- お釈迦様が悟られた聖日にお釈迦様にならい坐禅を致します。
- 修正会 (しゆしょうえ)
- 元旦（三日）
- 隨時、御祈祷を受け付けております。厄年、お祓いなど新年のご祈願致します。（お札・お守りございます）

- 〈覚禅会六月～一月の予定〉
- 六月九日（土）九時
- 七月十四日（土）九時
- 八月二十一日（火）
- 七時～十二時頃
- 八月は「禅道場体験」に変えさせて頂きます
- 九月八日（土）九時
- 十月十三日（土）九時
- 十月十日（土）九時
- 十二月八日（土）九時
- 摂心会

月とは関係のない西暦の日取りに歳時を替えてしまうこと、それは歳時の魂をなくし、行事の衰退化をもたらす、そういう歴史を私たちは見てきたと思います。今は歴史を振り返ることが非常に重要な時代で、歴史から学んで新しい時代に備えたいものです。むかしながらのお盆は今年は西暦9月1日（土）。月暦（旧暦）ではこの日が七月十五日に当たり、夕方には丸い月が上がります。是非むかしを偲んでください幸いです。

文 志賀勝

**棚経（盆経）の
お知らせ**

今年も棚経たなぎょう（お盆のお経）にまわらさせて頂きます。

美作地区外の方は例年通り、お電話にて日程をご連絡致します。

美作地区の方は、勝手乍ら下記の予定表通りお勤めさせて頂きまで宜しくお願い致します。ただし、葬儀などで急な予定変更もございますので、その折は何卒ご理解下さい。

また、ご都合の悪い方はご連絡頂ければ日程の変更も可能ですのでご遠慮なくお申し出下さい。

お留守の場合は、略儀乍ら外からご向させて頂きます。

**午前は七時～十二時頃
午後は十二時～二十時頃
の予定です。**

（早朝より、昼食時、日暮れ時に訪問することもありますが何卒ご協力下さい。）

平成24年 棚経（盆経）予定表

日にち	曜日	時間	地域（仏壇の安置場所で表記）
6月上旬頃			関東 中部地方
6月中～7月上旬頃			関西地方
7月中旬頃			中国（岡山県外）四国地方
7月中旬頃			岡山県南地域
7月中旬頃			新見市、勝央町
7月24日	火	午前	加茂町、上横野、苦田郡鏡野町、宮部下
		午後	宮尾、久米川南、神代、福田下、桑上、桑下、戸脇、久米郡美咲町
7月25日	水	午前	山方、一宮、大田、沼
		午後	上河原、北園町、山北、椿高下、総社、小原
7月26日	木	午前	林田、野介代、川崎、高野本郷、山下、横山、昭和町、
		午後	大谷、南新座、福渡町、坪井町、鉄砲町、小田中、二宮、院庄
7月31日	火	午前	真庭市
8月1日	水	午前	畠西、政友
		午後	追分、原（上）
8月2日	木	午前	原（下）、安清（上）
		午後	安清（下）、福本
8月3日	金	午前	明谷、岩谷
		午後	磯尾、寺城、大宮
8月4日	土	午前	坪井（1）（2）
		午後	坪井（2）（3）（4）
8月5日	日	午前	岡、寺岡、
		午後	三成（1）
8月6日	月	午前	三成（2）
		午後	千代、多田、領家
8月7日	火	午前	木原
		午後	山根
8月8日	水	終日	奈義
8月9日～10日			〈予備日〉
8月11日～15日頃			〈初盆〉※ご予約のまだの方は、お早めにご連絡下さい
秋彼岸頃			九州地方